



【編集後記】「感震ブレーカーに関心を」

地震で発生した火災の原因として電気機器からの出火や停電が復旧した時の出火があげられる。その予防に効果的なのが地震を感知すると自動的にブレーカーを落とし電気を止める感震ブレーカーで、設置に補助金を出している自治体もあるが普及は進んでいないという。感震ブレーカーには分電盤に取り付けるものやコンセントに差し込むものなどいくつかタイプがあり工事の必要性や費用にも差がある。住宅の新築やリフォームの時は、住宅メーカーや建築会社が推奨して工事に合わせて設置できるが既存住宅への取り付けを進めるためには事業者と自治体・消防署、地域の防災団体など関係者の役割分担の整理と活動に要する費用の確保が必要となろう。国では地域の実情に合った普及推進のモデル計画を策定するとしているが、まずは啓発活動を強力に進め、電気火災の危険性と感震ブレーカーについて国民の認知度を高めることが不可欠だ。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2025年2月号（通巻60号）

- 発行日 令和7年2月15日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号（日本消防会館内）
- TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851
- URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社